

リョービ株式会社

## 2021年12月期 決算説明会資料

(証券アナリスト、機関投資家向け)

2022年2月15日



### 目次

1. 2021年12月期 決算実績	P. 3
2. 2022年12月期 業績予想	P. 14
3. 今後の取り組み	P. 23
(1) 経営の基本方針	
(2) ダイカスト事業	
(3) 住建機器事業	
(4) 印刷機器事業	
(5) サステナビリティ ESG/SDGs	
4. 株主還元	P. 44

# 1. 2021年12月期 決算実績

1. 2021年12月期 決算実績

**RYOBI**

## 決算のポイント

### ➤ 2021年12月期実績 増収・減益（対前年比）

（ダイカスト）

- ・ 国内・海外ともに増収 世界的な半導体不足、及び新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う自動車部品の供給不足等が自動車生産に影響を与えたが、景況感回復に伴う自動車販売の回復や原料（アルミ）価格の上昇に伴い、全ての地域において増収
- ・ 損益は原料価格高騰が継続し、販売価格への転嫁が後追いとなったため、黒字化には至らず
- ・ 英国子会社において約40億円の減損損失を計上

（住建機器）

- ・ 国内・海外ともに増収 利益は人民元高による調達コスト上昇で減益

（印刷機器）

- ・ 国内は減収だが、海外は中国、韓国向け輸出が堅調に推移し、全体では増収
- ・ 損益は増収の効果や原価低減により改善したが黒字化には至らず

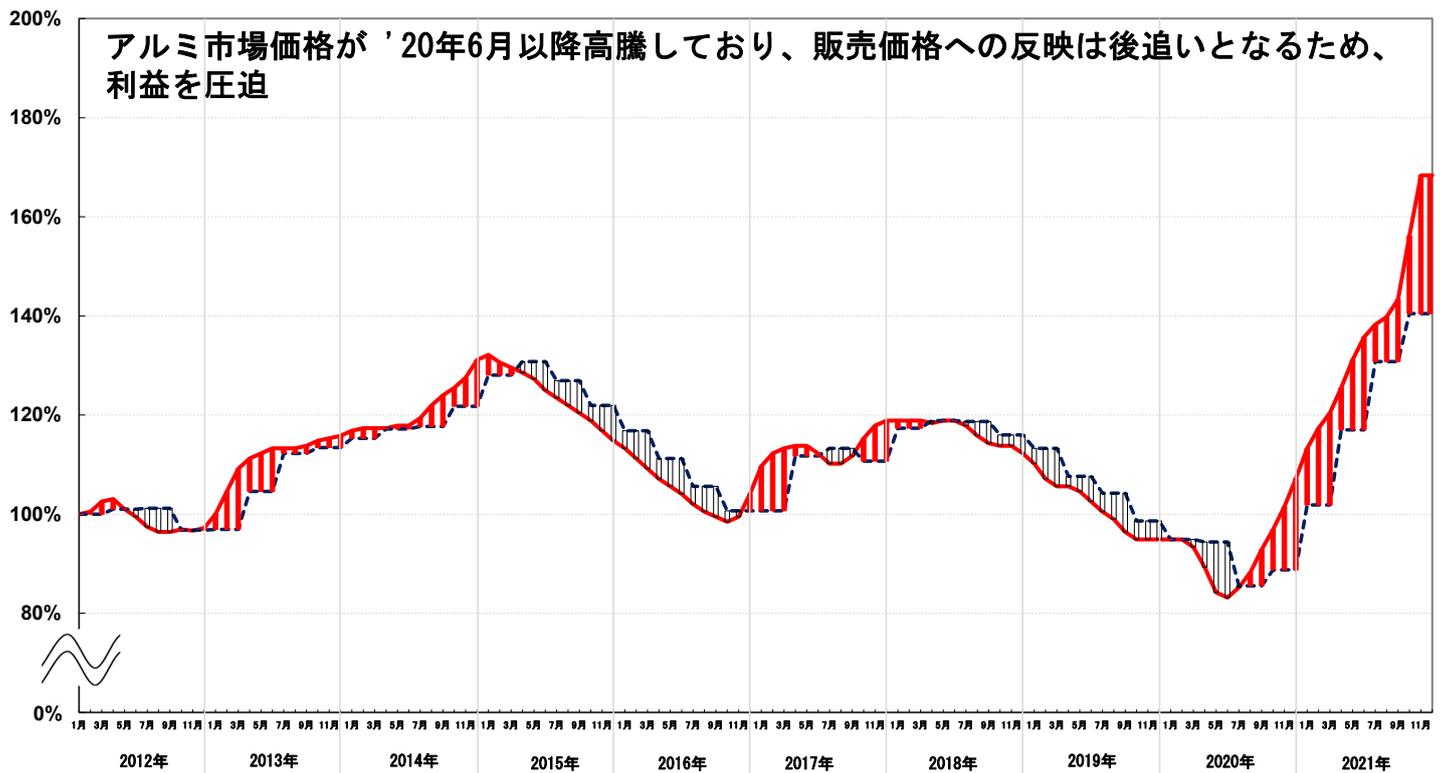
### ➤ 2022年12月期予想

- ・ 新型コロナウイルス感染症の再拡大、サプライチェーンの混乱、原料価格高騰の影響が懸念されるが、緩やかな景気の回復を見込む
- ・ 前連結会計年度（2021年12月期）比で増収増益

# アルミ市場価格が損益に与える影響(イメージ)

アルミの市場価格、販売価格の推移(直近10年間: '12年1月~'21年12月)

— アルミ市場価格      - - - アルミ販売価格(前3カ月の市場価格平均で販売価格へ反映)



5/47

## 2021年12月期実績

(単位: 億円)

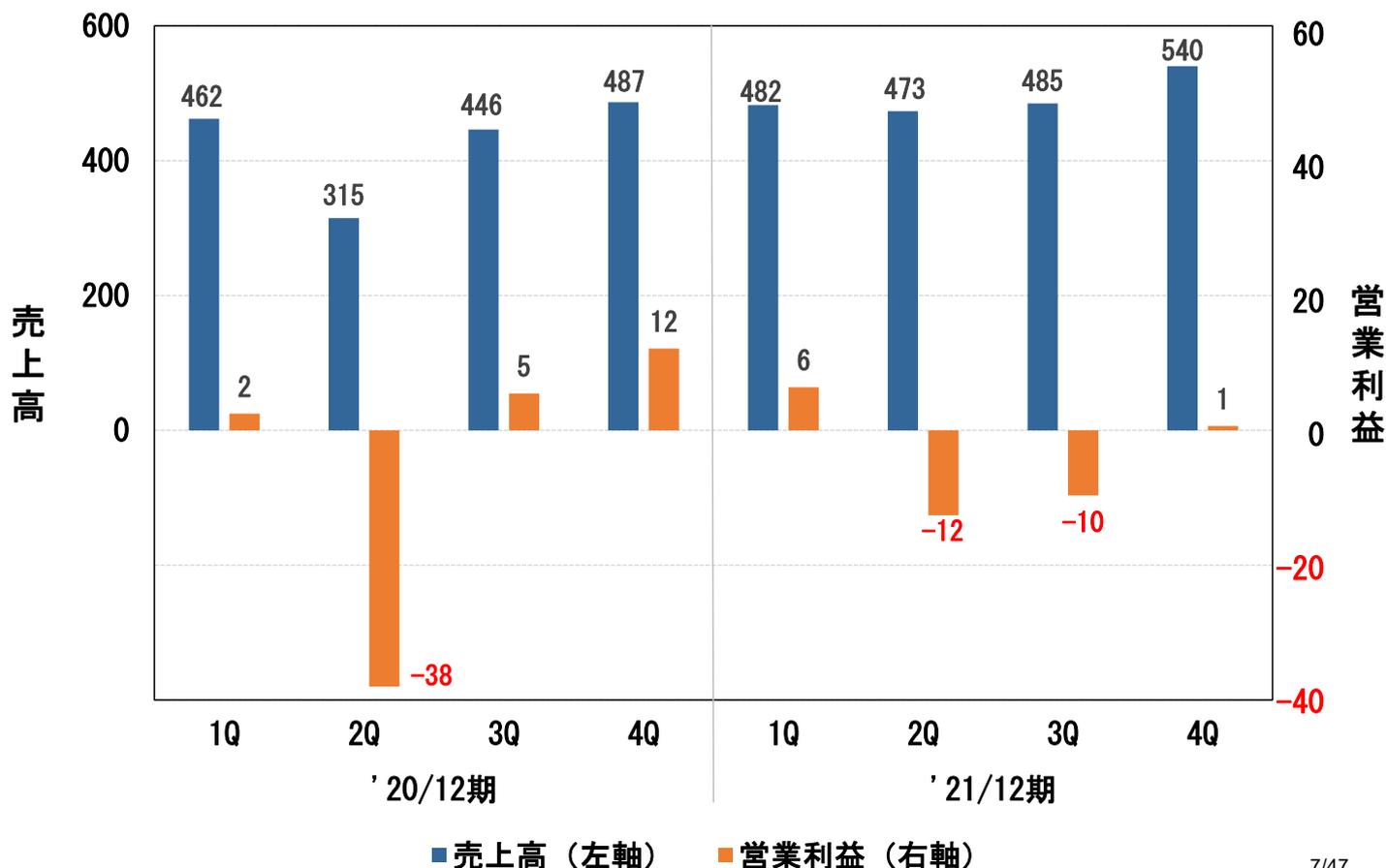
	'20/12期		'21/12期	
	実績	実績	実績	前期差 (前期比)
売上高	1,710	1,981	271 (15.9%)	
営業利益	△18	△15	3 (-)	
経常利益	△0	0	0 (-)	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△7	※ △44	△37 (-)	

※ 英国子会社において、約40億円の減損損失を特別損失に計上。

6/47

(単位：億円)

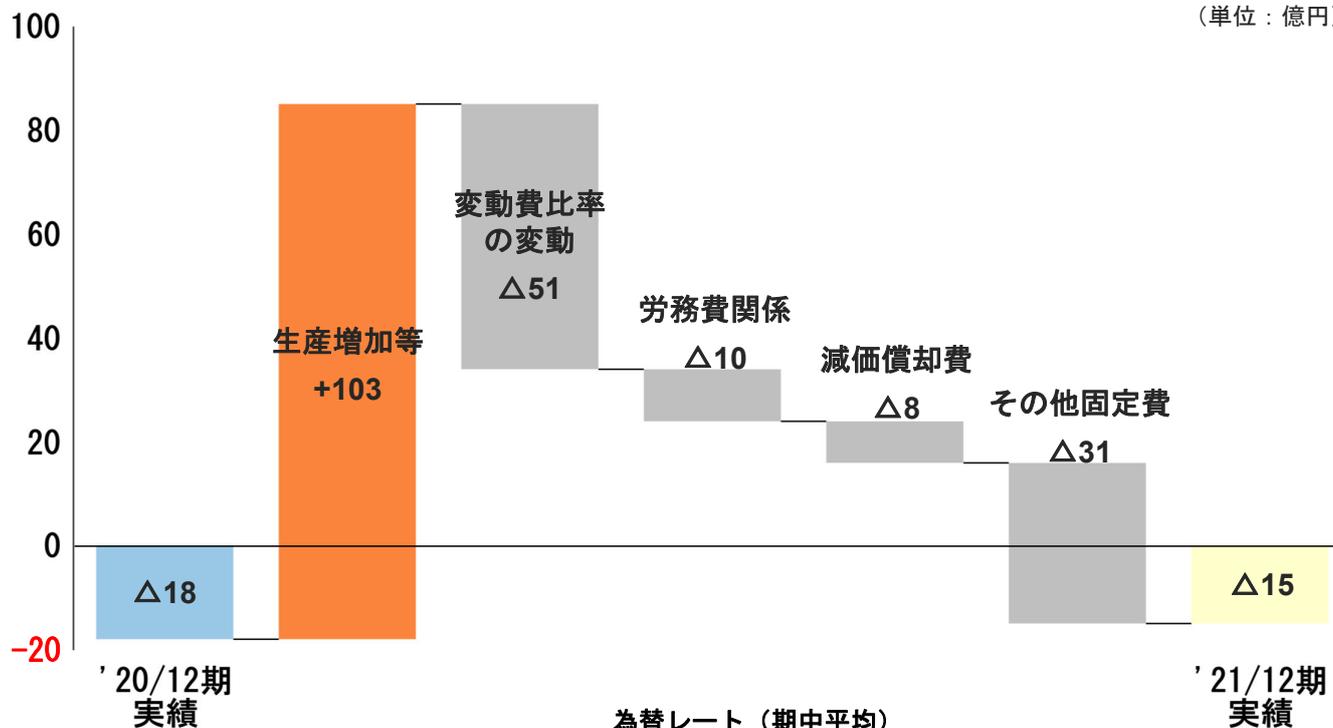
(単位：億円)



7/47

## 営業利益増減要因

(単位：億円)



その他固定費の主な内訳

水道光熱費	△10億円
消耗品費	△7億円

為替レート (期中平均)

	'20/12期	'21/12期
米ドル	106.80円	109.46円
英ポンド	137.43円	150.64円
中国元	15.40円	16.96円
タイバーツ	3.41円	3.44円

8/47

(単位：億円)

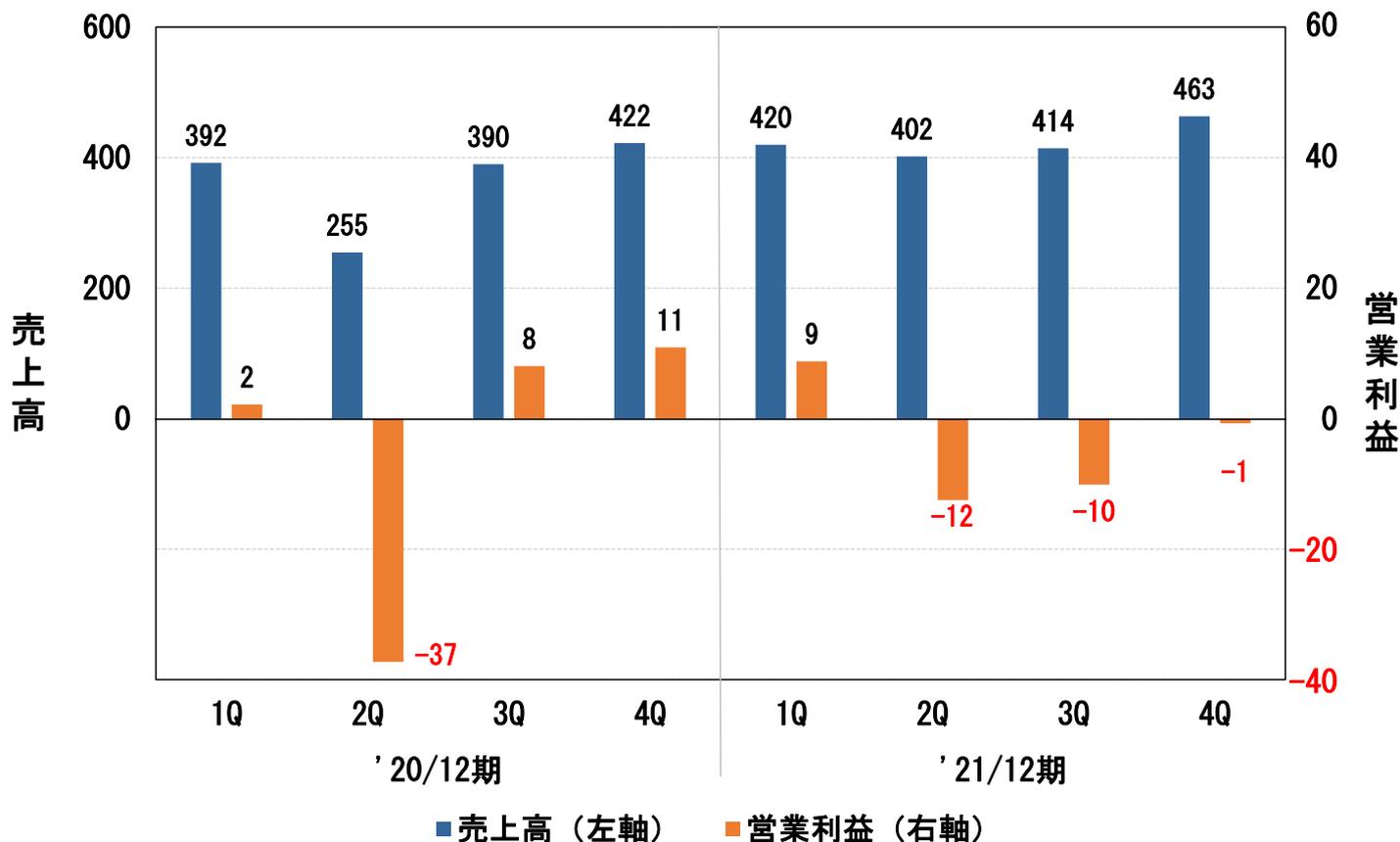
	'20/12期		'21/12期	
	実績		実績	前期差 (前期比)
売上高	1,710		1,981	271 (15.9%)
ダイカスト	1,459		1,699	240 (16.5%)
住建機器	94		96	2 (1.8%)
印刷機器	155		184	29 (18.6%)
営業利益	△18		△15	3 (-)
ダイカスト	△16		△14	2 (-)
住建機器	8		4	△4 (△54.7%)
印刷機器	△9		△4	5 (-)

9/47

## 売上高、営業利益の推移 ダイカスト事業

(単位：億円)

(単位：億円)

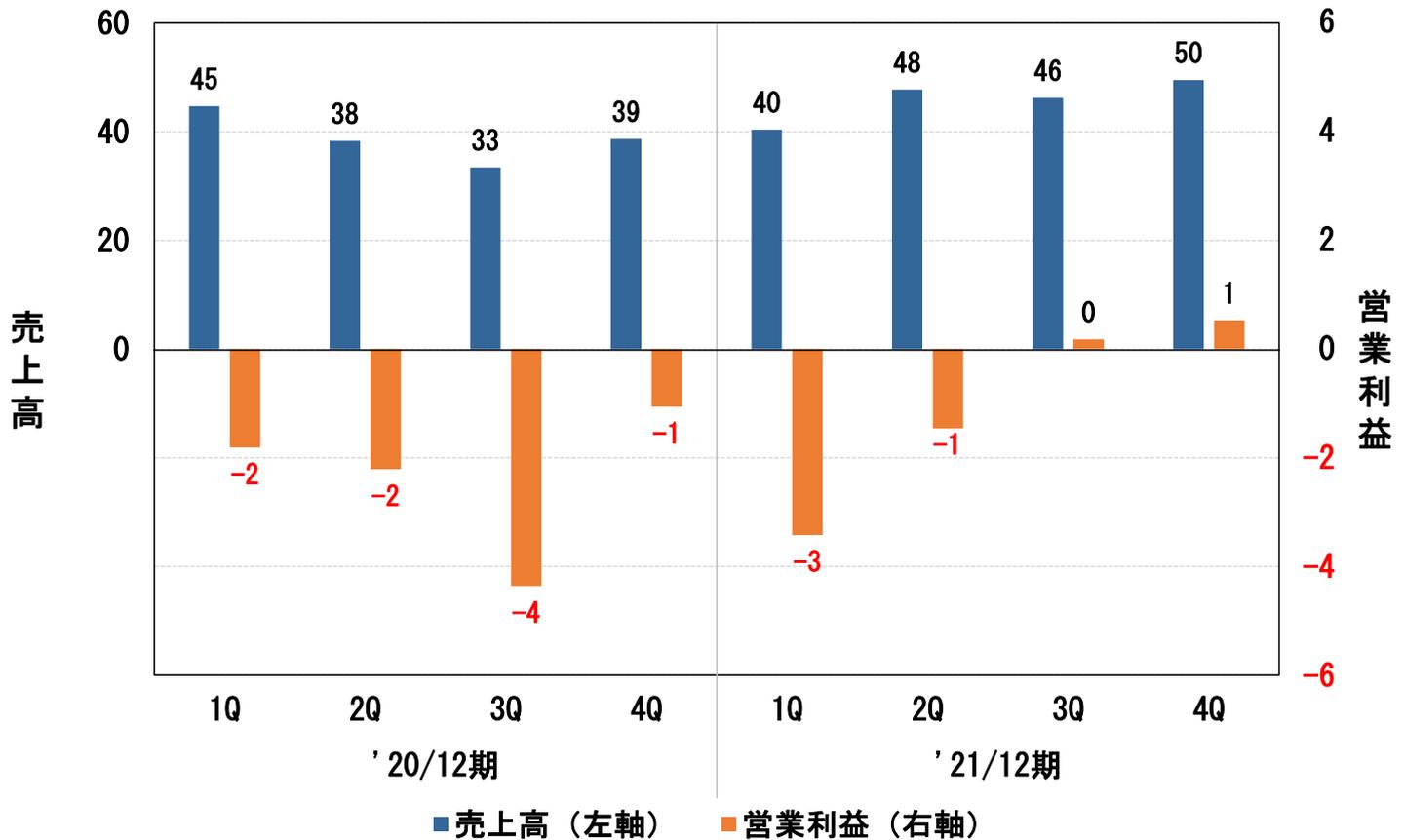


10/47

## 売上高、営業利益の推移 印刷機器事業

(単位：億円)

(単位：億円)



11/47

## 貸借対照表

1. 2021年12月期 決算実績

RYOBI

(単位：億円)

	'20/12期	'21/12期	増減	内 為替影響
流動資産	1,122	1,296	174	50
現預金	266	285	20	10
売上債権	402	443	42	17
有価証券	8	7	△0	0
棚卸資産	414	525	111	22
その他	33	35	1	2
固定資産	1,464	1,498	34	76
有形固定資産	1,190	1,172	△18	66
無形固定資産	35	32	△3	2
投資その他の資産	240	295	55	8
繰延資産	0	0	△0	—
資産合計	2,587	2,794	208	126
流動負債	839	1,108	269	38
仕入債務	291	416	125	8
短期借入金	373	510	137	22
その他	175	182	7	7
固定負債	488	369	△119	7
長期借入金 (社債含む)	352	228	△124	5
その他	137	142	5	2
株主資本	1,163	1,116	△47	△0
その他の包括 利益累計額	9	113	105	81
非支配株主持分	88	88	0	—
純資産合計	1,259	1,317	58	81
負債・純資産 合計	2,587	2,794	208	126

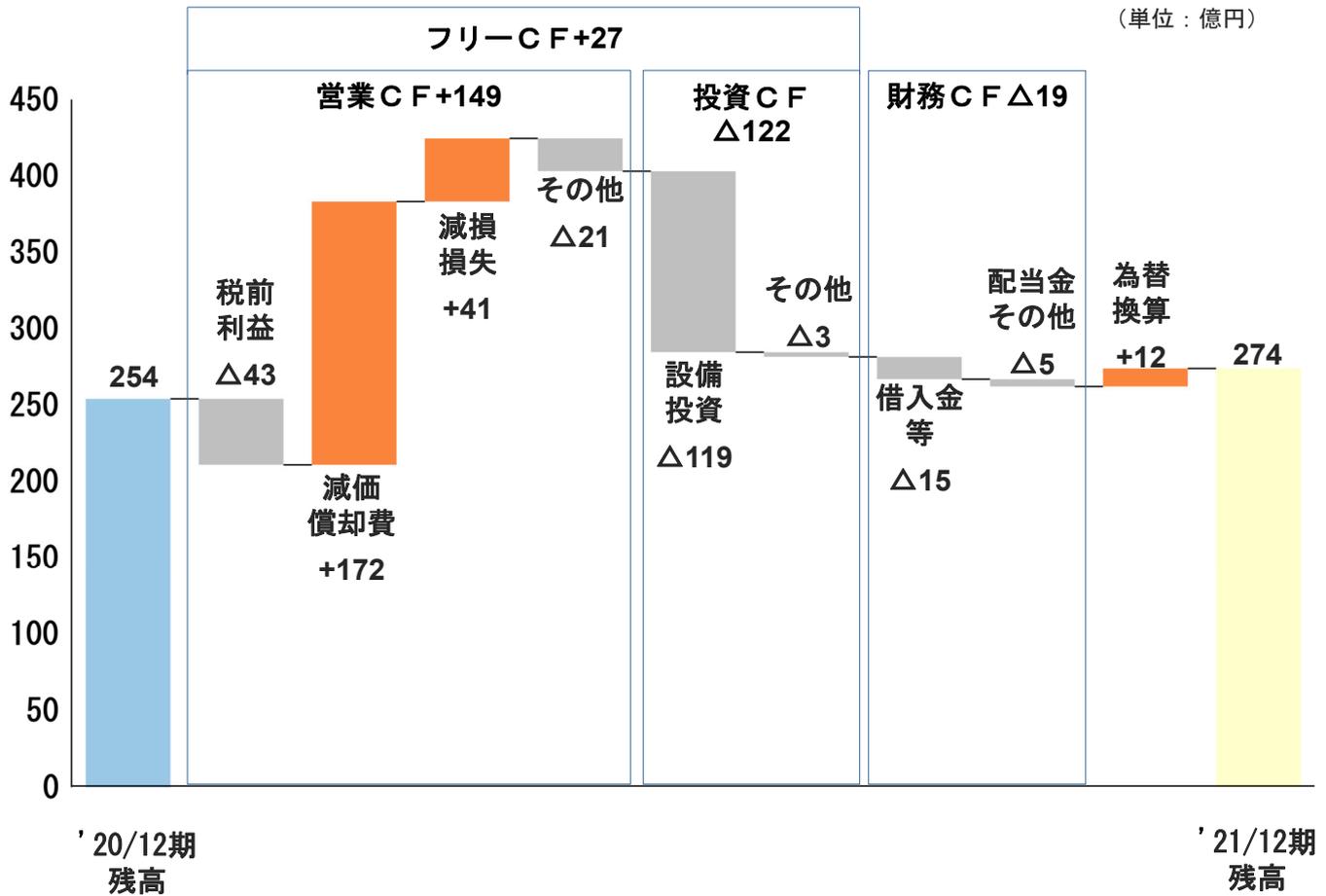
- 総資産は208億円増加（内 為替影響126億円）実質82億円の増加
- 有利子負債（含む社債）は為替影響を除いた実質では14億円の減少
- 純資産は、為替影響81億円を含め、58億円の増加

為替レート（期末日）	米ドル	英ポンド	中国元	タイバーツ
'20/12期	103.50円	139.82円	15.88円	3.44円
'21/12期	115.02円	155.24円	18.06円	3.43円

12/47

## キャッシュフロー増減

(単位：億円)



13/47

## 2. 2022年12月期 業績予想

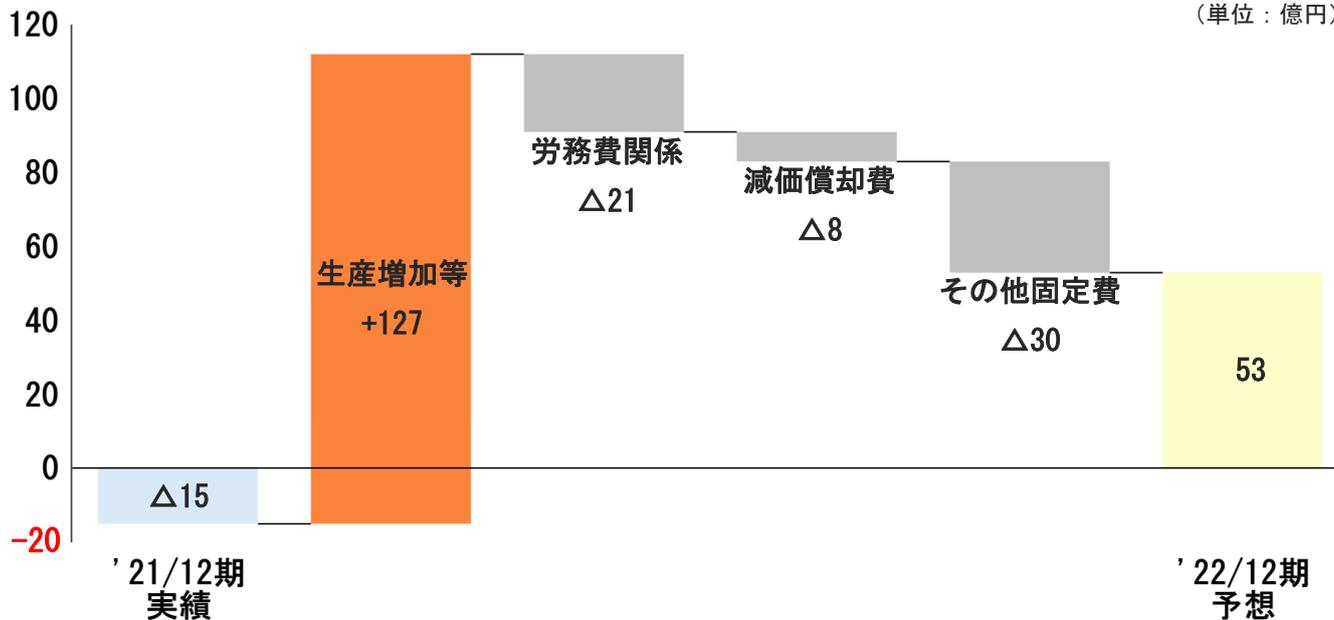
(単位：億円)

	'21/12期	'22/12期	
	実績	予想	前期差 (前期比)
売上高	1,981	2,400	419 (21.2%)
営業利益	△15	53	68 (-)
経常利益	0	54	54 (-)
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△44	38	82 (-)

※ 経常利益の前期比は、1,000%以上となるため「-」と表示している。

## 営業利益予想増減要因

(単位：億円)



- 国内外増収効果による増益
- 生産増加に伴い主に海外拠点で労務費が増加
- 設備投資に伴う減価償却費の増加
- 水道光熱費・修繕費等も増加

### 為替レート

	'21/12期 (期中平均)	'22/12期 (予想)
米ドル	109.46円	112.00円
英ポンド	150.64円	150.00円
中国元	16.96円	17.50円
タイパーツ	3.44円	3.40円

為替が1%円高に変動した場合の年間営業利益への影響額

米ドル	△40百万円
英ポンド	△10百万円
中国元	+10百万円

# セグメント別業績予想

2. 2022年12月期 業績予想

**RYOBI**

(単位：億円)

	'21/12期		'22/12期	
	実績	予想	前期差 (前期比)	
売上高	1,981	2,400	419 (21.2%)	
ダイカスト	1,699	2,081	382 (22.5%)	
住建機器	96	94	△2 (△1.8%)	
印刷機器	184	225	41 (22.3%)	
営業利益	△15	53	68 (-)	
ダイカスト	△14	46	60 (-)	
住建機器	4	3	△1 (△17.2%)	
印刷機器	△4	4	8 (-)	

17/47

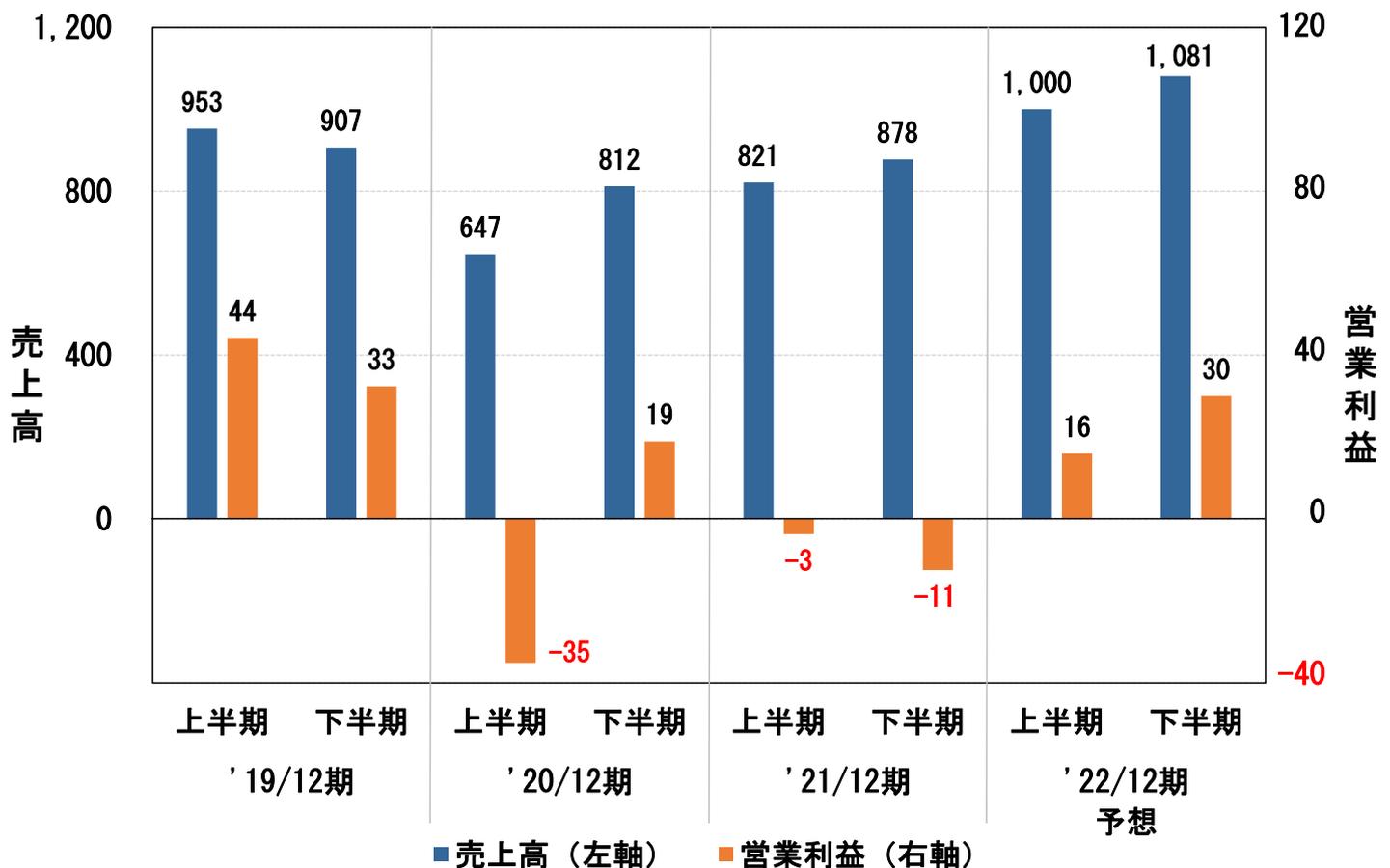
2. 2022年12月期 業績予想

**RYOBI**

## 売上高、営業利益の推移 ダイカスト事業

(単位：億円)

(単位：億円)

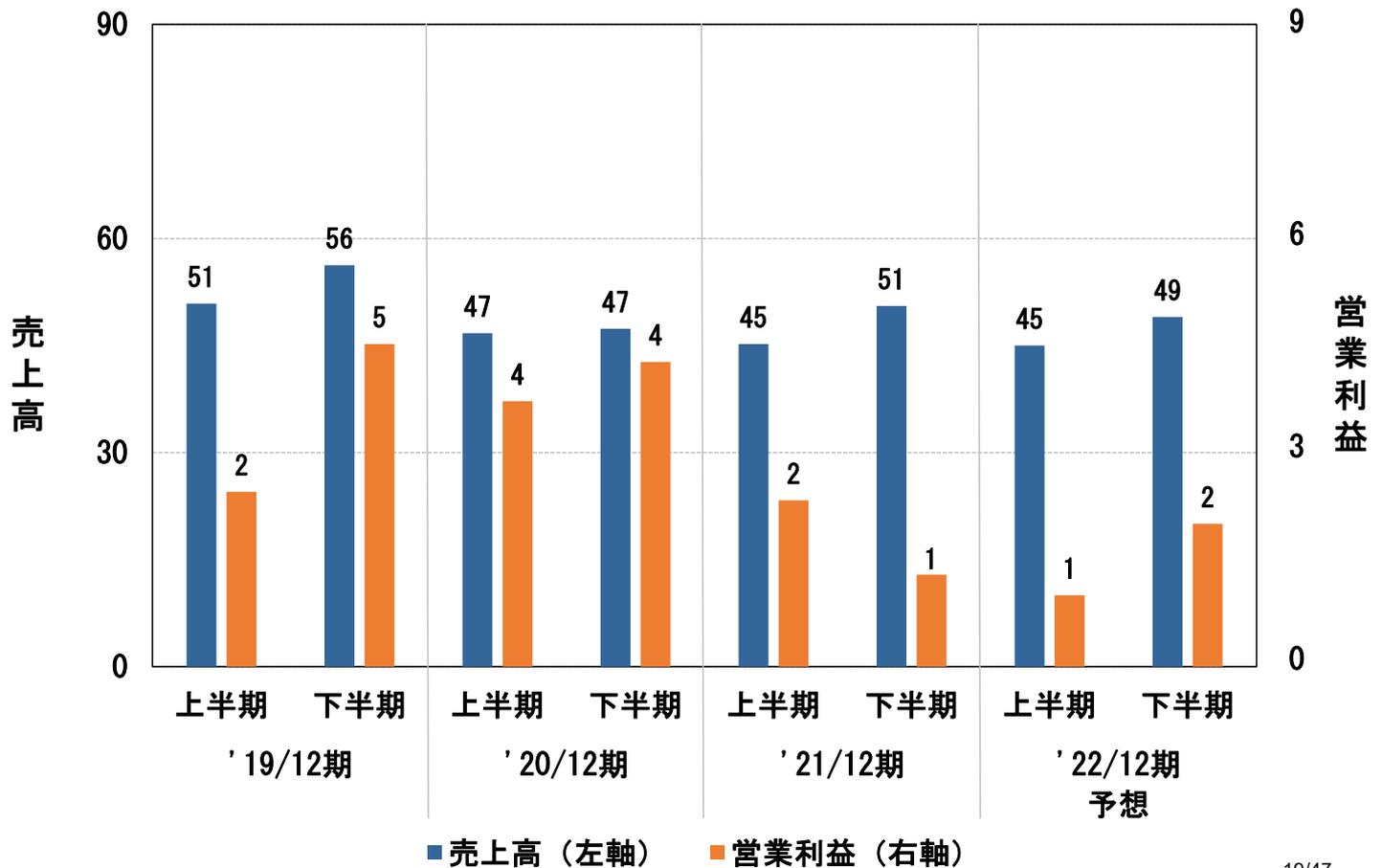


18/47

## 売上高、営業利益の推移 住建機器事業

(単位：億円)

(単位：億円)

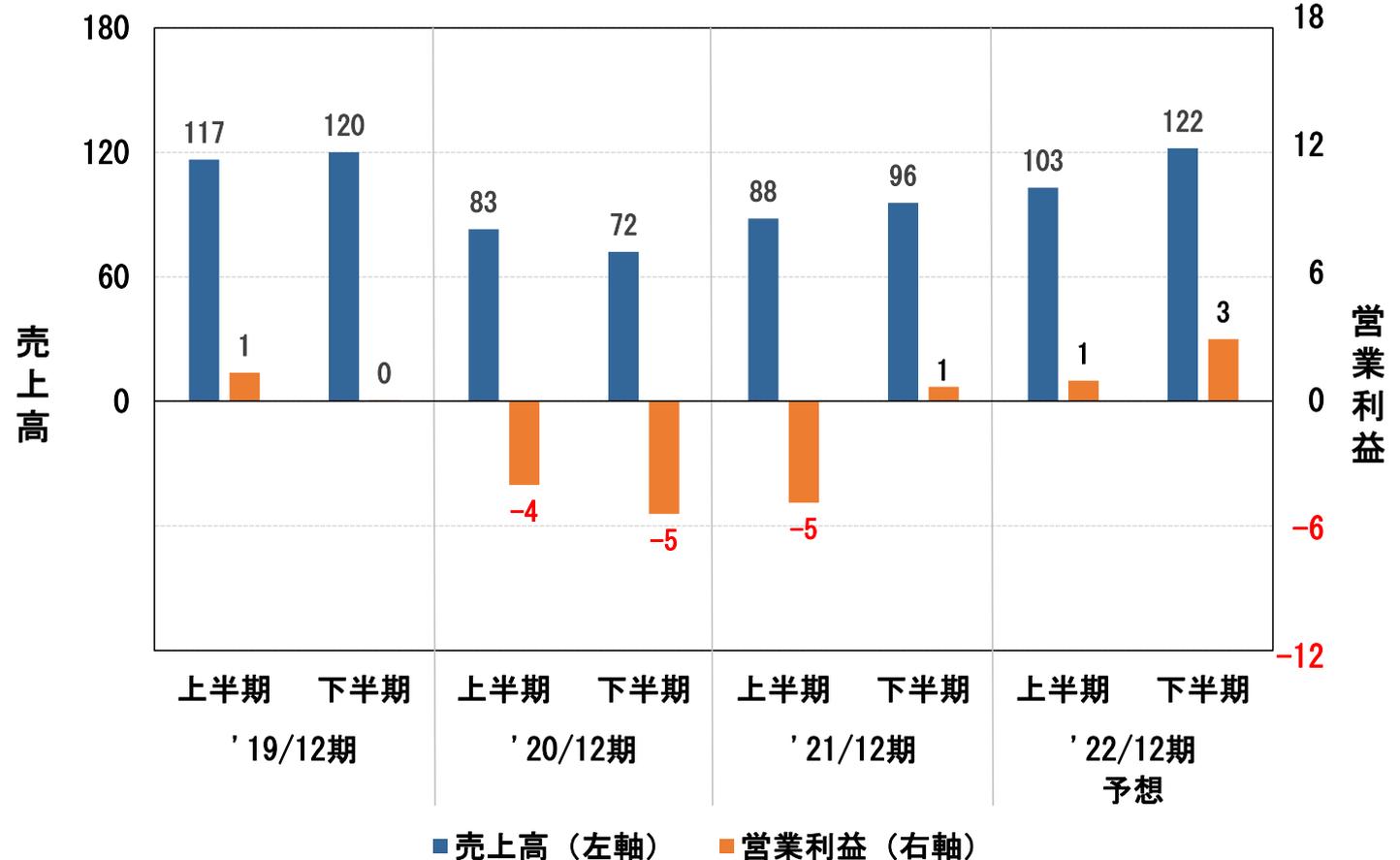


19/47

## 売上高、営業利益の推移 印刷機器事業

(単位：億円)

(単位：億円)



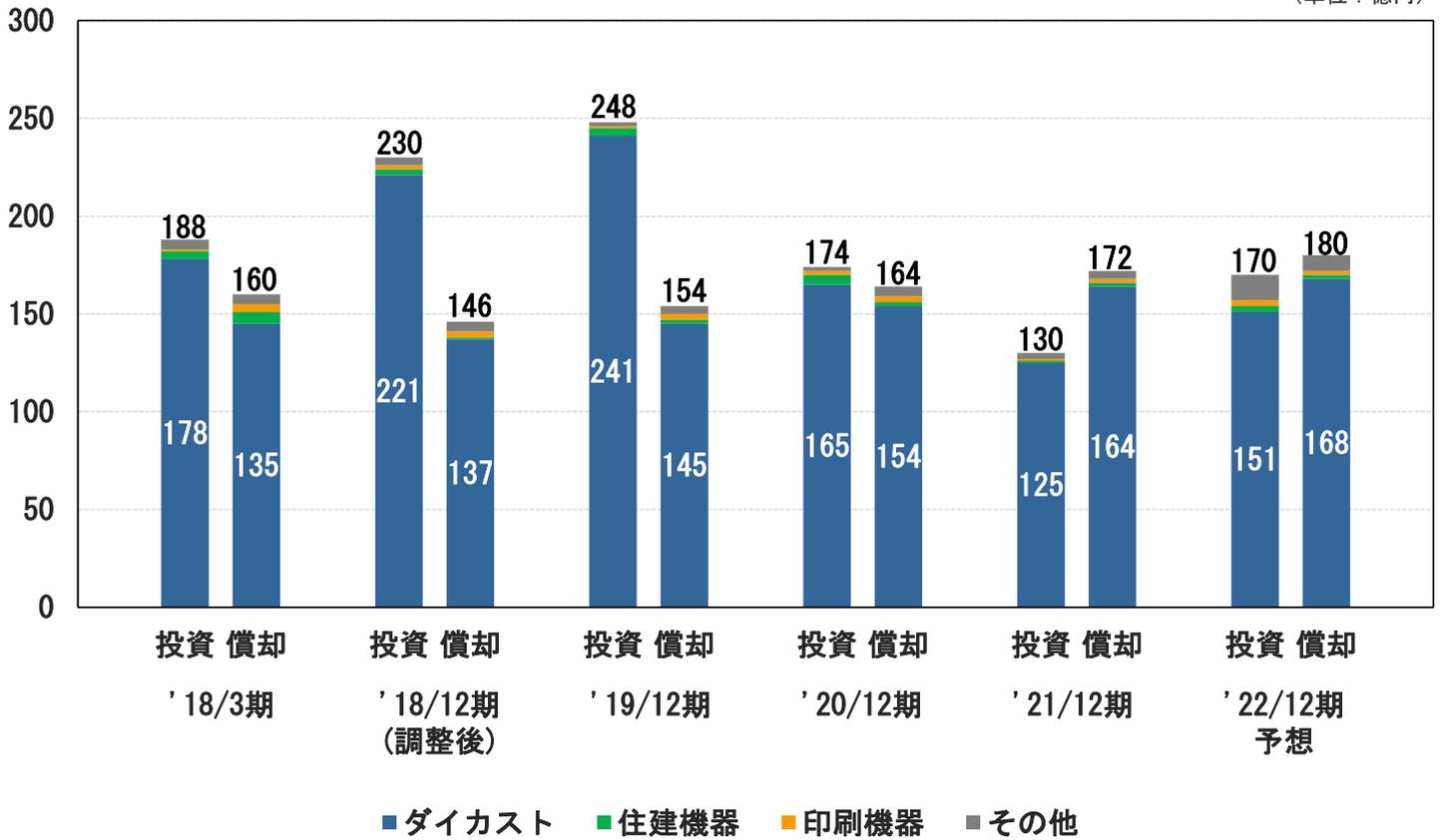
20/47

# 設備投資・減価償却費 推移

2. 2022年12月期 業績予想



(単位：億円)



※'18年4月より、国内の有形固定資産の減価償却方法を定率法から定額法に変更

21/47

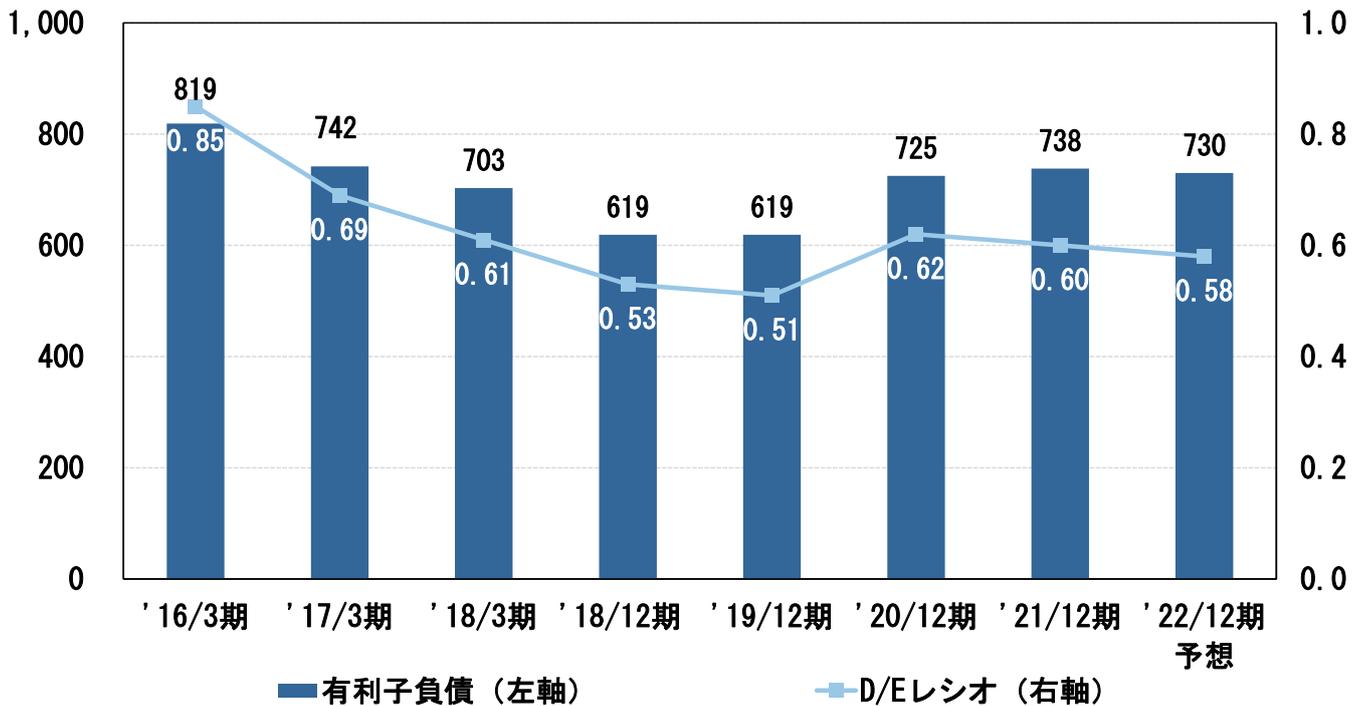
# 有利子負債・D/Eレシオ 推移

2. 2022年12月期 業績予想



(単位：億円)

(単位：倍)



	'16/3期	'17/3期	'18/3期	'18/12期	'19/12期	'20/12期	'21/12期	'22/12期 予想
借入金依存度 (有利子負債/総資産)	30.9%	28.2%	25.8%	23.0%	23.5%	28.0%	26.4%	26.2%

22/47

### 3. 今後の取り組み

#### 経営の基本方針

3. 今後の取り組み-(1) 経営の基本方針

**RYOBI**

#### <基本方針>

- ステークホルダーとの信頼関係の強化
- 収益構造の改善とコスト管理の強化
- 安定的なキャッシュフローの確保と資産効率の向上
- 技術の活用による新たな価値の提供
- 経験や知恵の蓄積と標準化の推進、それらの活用を通じた人材育成

## 事業環境

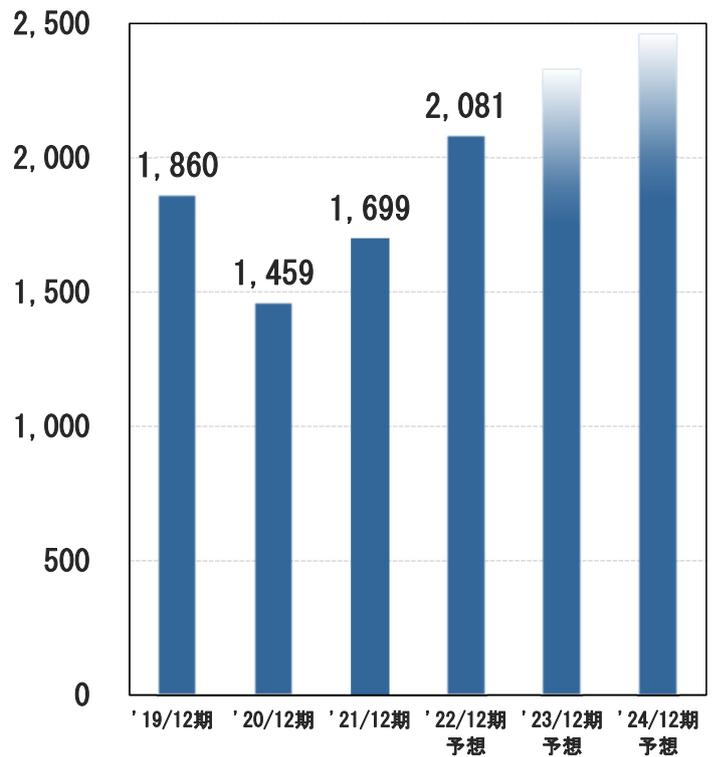
- 電動化の主流は、当面はハイブリッド車であるが、BEV主流への移行が早まる
- 原料価格の高騰は、足元では調整局面入り
- 半導体不足や東南アジアのロックダウンなど、世界的なサプライチェーンの混乱は2021年4Qにかけ解消傾向にあったが、再燃。2019年レベルの生産台数に戻るのには2022年後半の見込

## 主要な取り組み

- 戦略製品（電動化、ボディ・シャシー部品）の開発強化、受注獲得、原価低減
- 拡販に向けたお得意先への製品提案力向上と開発支援
- 原料の販売価格への反映期間短縮 等
- 生産設備の自動化・省人化推進

## 売上高の見通し

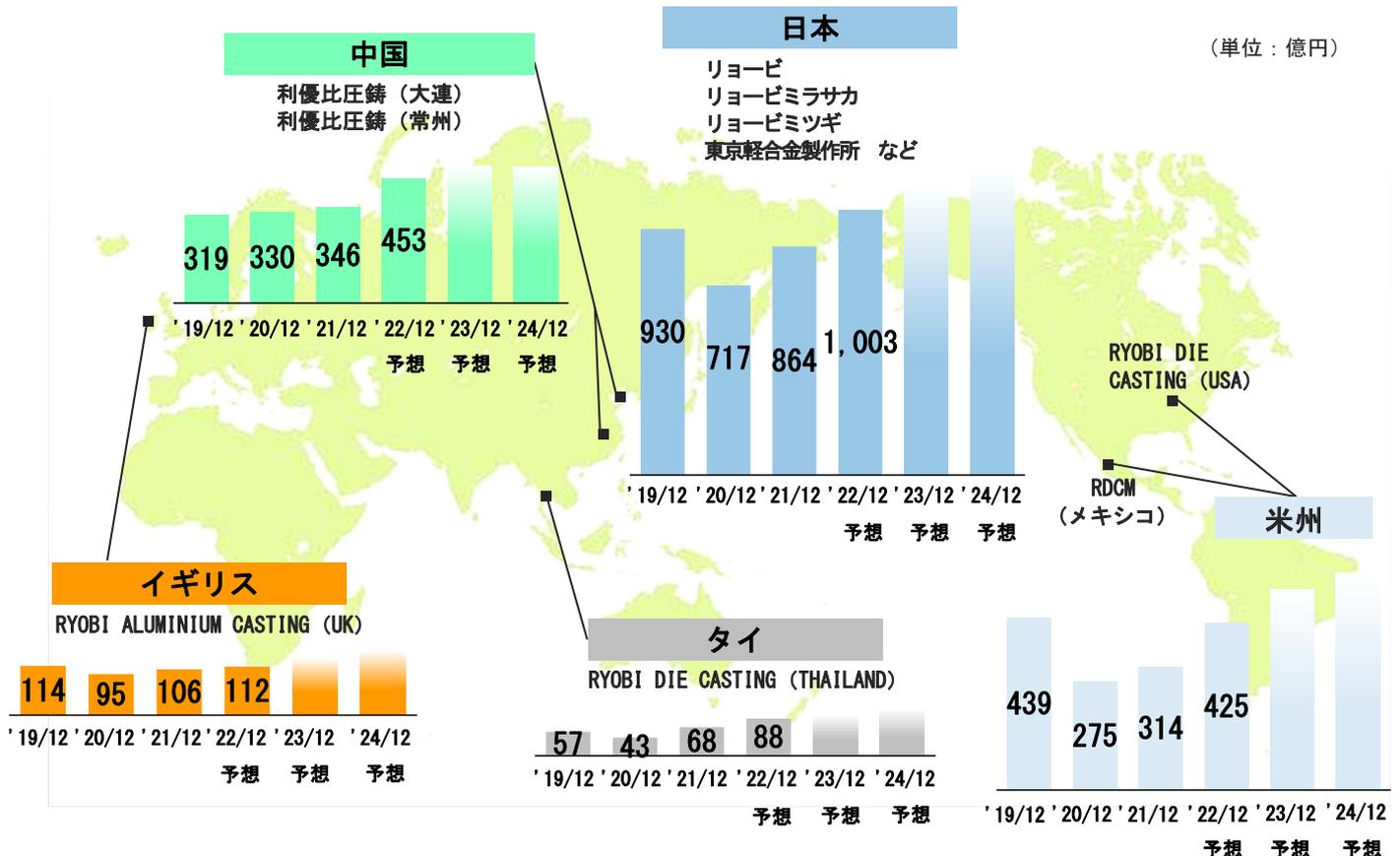
(単位：億円)



25/47

## 地域別売上高の予想

(単位：億円)

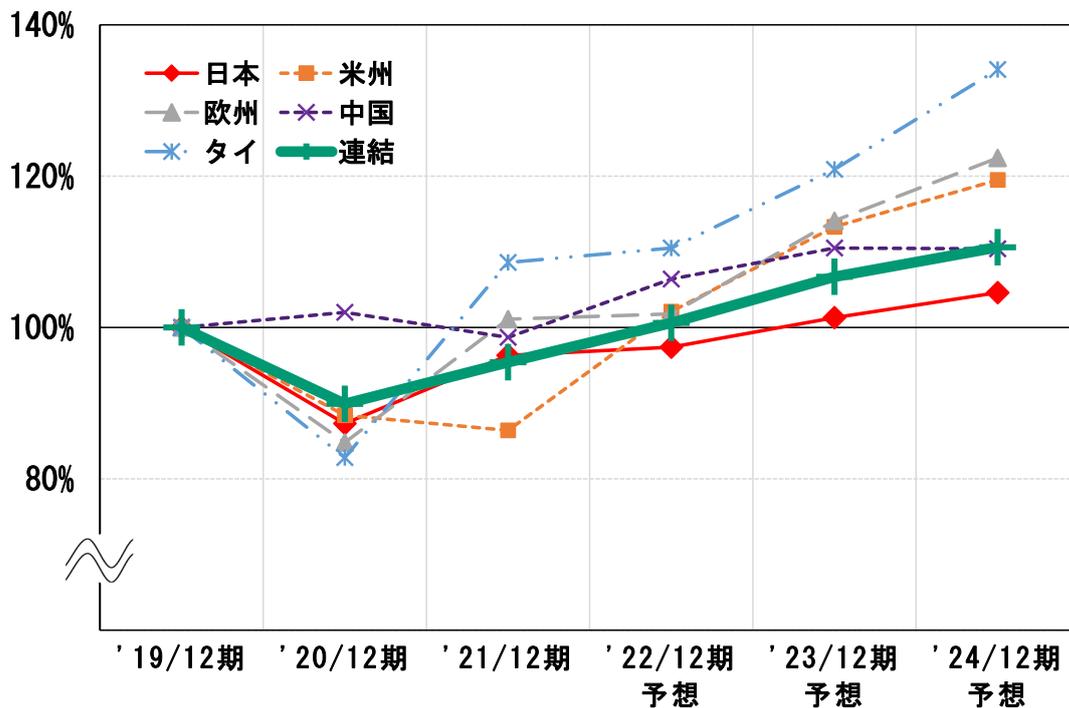


26/47

# ダイカスト事業

## '19/12期～'24/12期の地域別生産高の予想推移

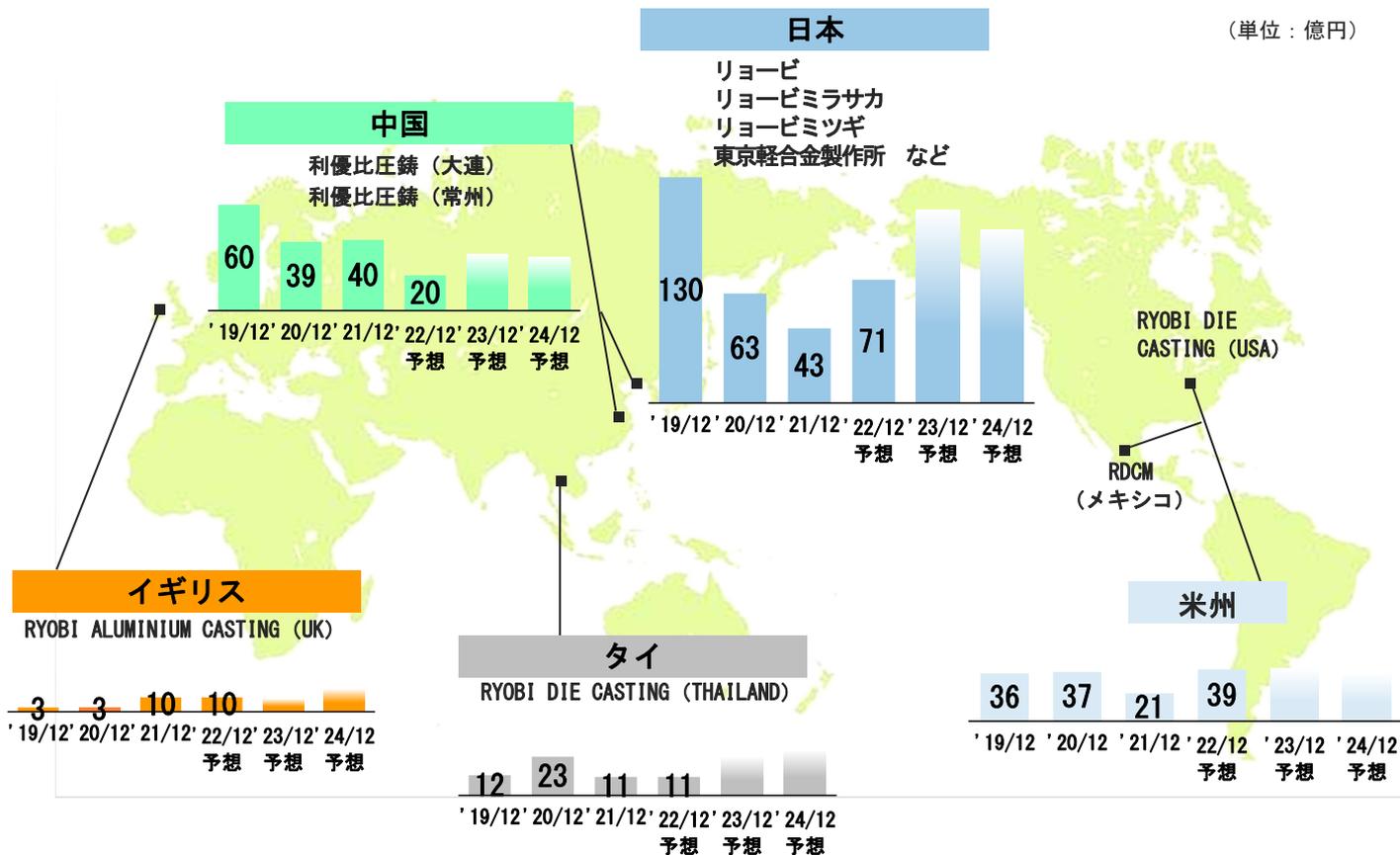
世界的なサプライチェーン混乱の再燃により、'19年レベルの生産台数に戻るの'22年後半の見込。米州・中国・タイは電動化部品、ボディ・シャシー部品の生産により'22年より増加する見込。



※ '19/12期の生産高を100とし、為替レート及びアルミ単価は'19/12期をベースに換算  
 ※ 一括又は分割金型の売上高除く

# ダイカスト事業

## 地域別設備投資の予想



## ダイカスト事業

## 今後の長期的な需要予測に関するまとめ

## ①自動車販売台数

- 販売台数は、'40年頃をピークに減少する。

## ②パワートレインミックス

- 電動化の主流は、当面ハイブリッド車であるが、BEV主流への移行が早まる。
- 環境規制、バッテリー動向（性能・価格）で、今後の予測は変化する。

## ③ダイカスト需要（消費地需要）

- ダイカスト仕事量のピークは、'35年～'40年頃と予測される。
- 動力源は変化するが、大型ダイカスト品（重量10kg程度）の需要は、増加傾向が続く。

29/47

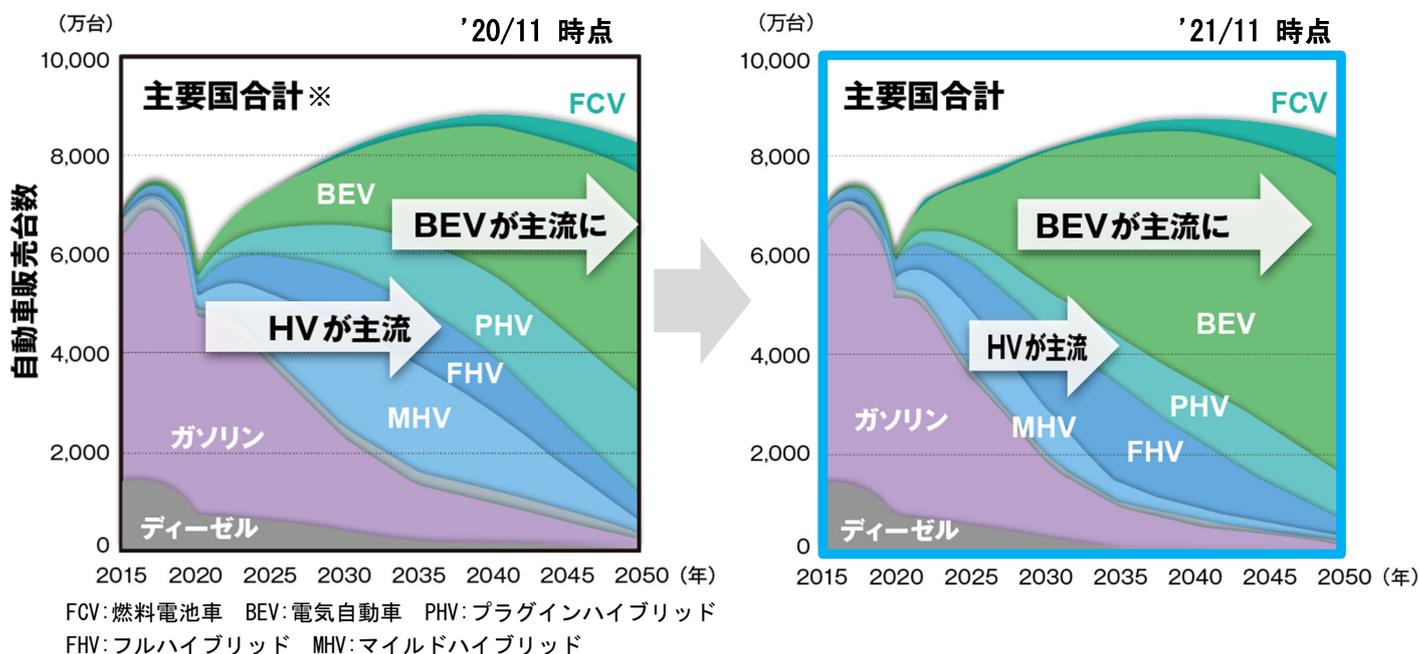
## ダイカスト事業

## 自動車販売台数とパワートレインミックスの長期的変化

当社予測 '21/11

BEV車が主流となる長期的トレンドが、この一年間で更に急速に進展

## 自動車販売台数予測(駆動別)



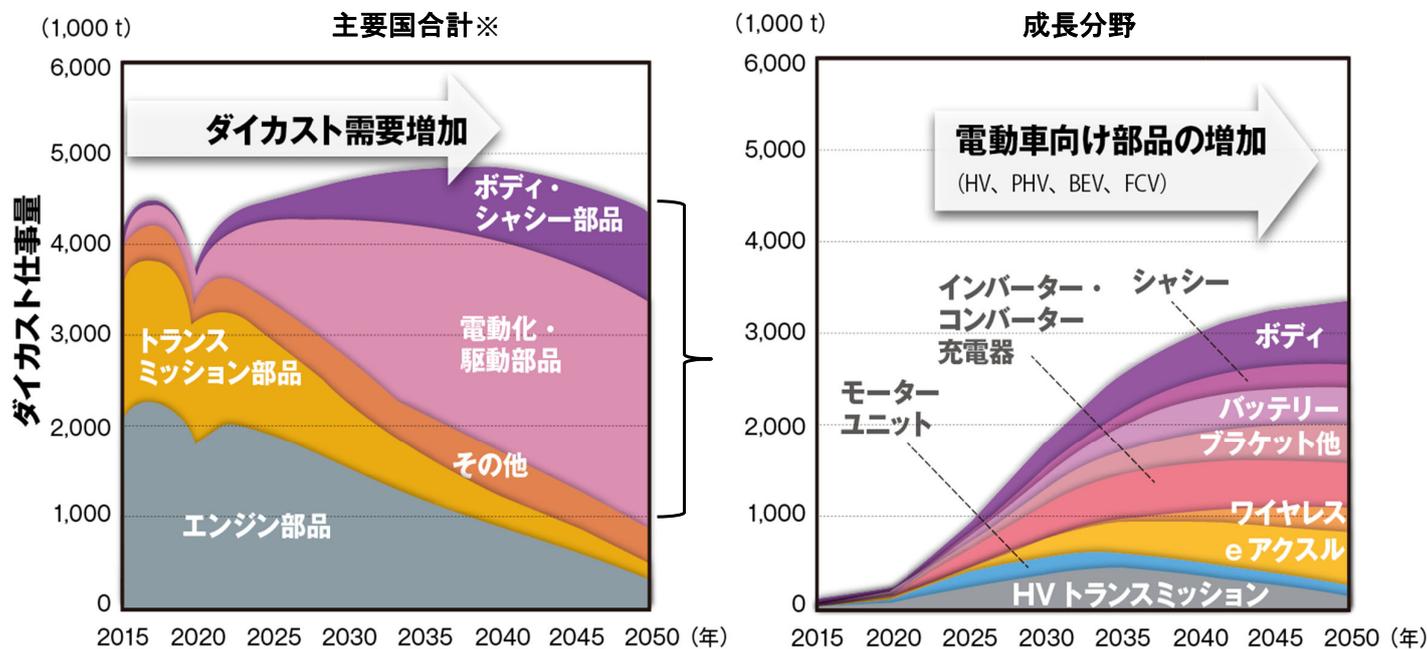
※主要国：日本、米国、欧州、中国、インド

30/47

# ダイカスト事業

ダイカスト需要予測 一体化を活かした材料置換による増加 当社予測 '21/11

電動化や軽量化への需要の長期的な進展により、ボディ・シャシー、バッテリーケース、eアクスルなどのニーズが増加



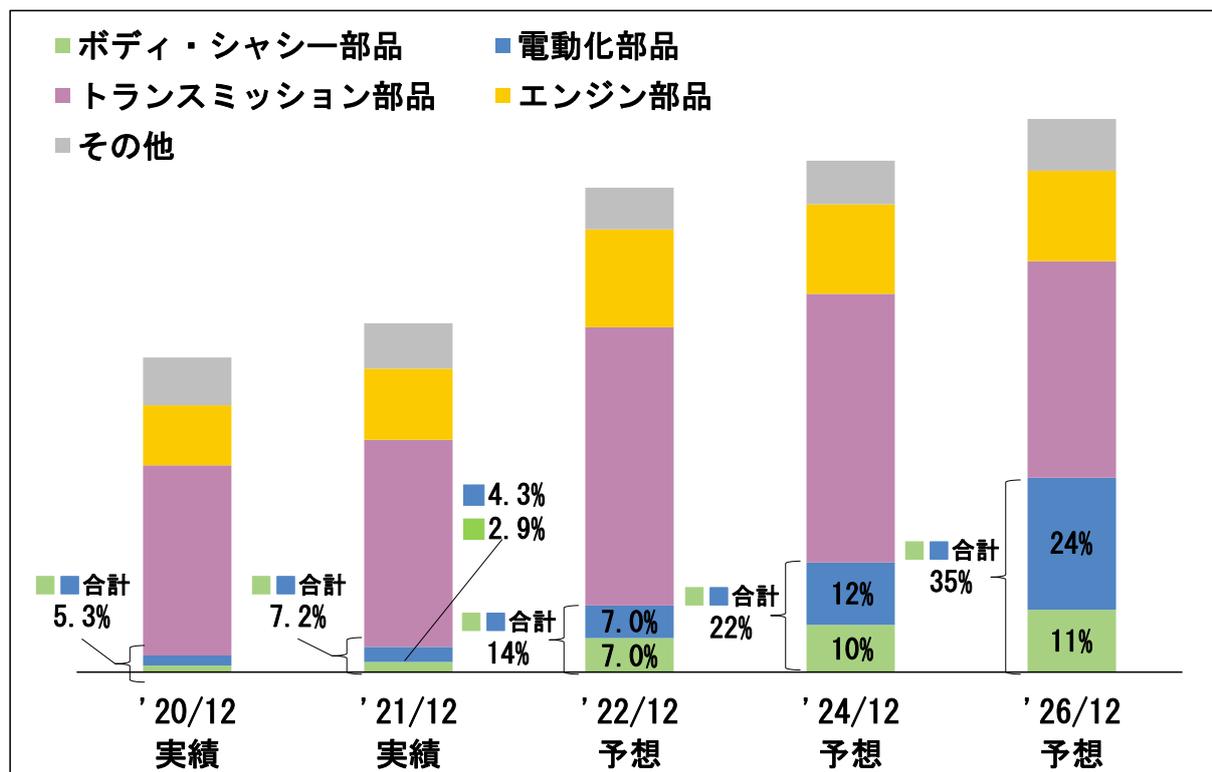
※主要国：日本、米国、欧州、中国、インド

31/47

# ダイカスト事業

電動化・軽量化への取り組み 電動化、ボディ・シャシー部品の売上高構成比

当社として電動化・軽量化に向けた需要変化に対応した新規受注戦略を推進



32/47

## 2021年以降量産開始の電動化、ボディ・シャシー部品

### 量産開始済：電動化、ボディ・シャシー部品と搭載車種紹介

生産	製品内容		納入先	搭載車種	量産開始
日本	ボディ・シャシー部品	フロントドアフレーム	トヨタ	ランクル300	2021年8月
	バッテリー部品	HV バッテリーケース	トヨタ	ノア、ヴォクシー、CH-R、プリウス、カローラ	2022年1月
		バイディングプレート	豊田自動織機	アクア、レクサスRX、クラウン	2021年8月
	HV駆動部品	ディファレンシャルリテーナー	トヨタ	タンドラ	2021年8月
米国	ボディ・シャシー部品	サブフレーム	ホンダ	シビック	2021年1月
中国	ボディ・シャシー部品	サブフレーム	ホンダ	シビック	2021年6月
タイ	ボディ・シャシー部品	サブフレーム	ホンダ	シビック	2021年7月

### 今後の量産開始予定（一部開始済み含む）

生産	製品内容		量産開始
日本	ボディ・シャシー部品	カウルトップパネル	2021年
		ショックタワー	2022年
		ステアリング部品	2022年
	バッテリー部品	PHV バッテリーケース	2022年
米国	ボディ・シャシー部品	ステアリング部品	2022年
	BEV駆動部品	モーターハウジング	2023年
英国	PHV駆動部品	PHV DCTミッションケース	2022年
中国	ボディ・シャシー部品	カウルトップパネル	2022年
	HV駆動部品	HV トランスミッション	2022年
	BEV駆動部品	ケース、ハウジング	2022年
	バッテリー部品	FHV バッテリーケース	2023年



当社バッテリーケースが搭載されているトヨタ様新型ヴォクシー

33/47

# 住建機器事業

## 事業環境

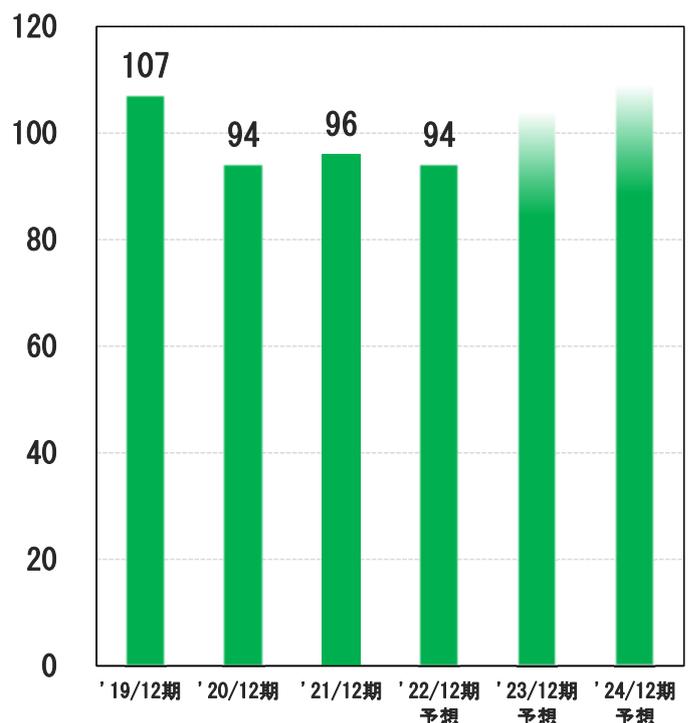
- 国内はビル（非居住）着工床面積、住宅着工戸数ともに横ばい傾向
- 原材料の高騰
- 住環境機器の非接触需要の高まり
- 長期的には国内のドアクローザ市場、引戸クローザ市場は緩やかに縮小傾向

## 主要な取り組み

- 国内市場での収益性向上
- 国内自動化設備の生産性向上
- 高付加価値製品（開閉アシストドアクローザなど）の売上高拡大
- 海外市場での売上高拡大

## 売上高の見通し

（単位：億円）

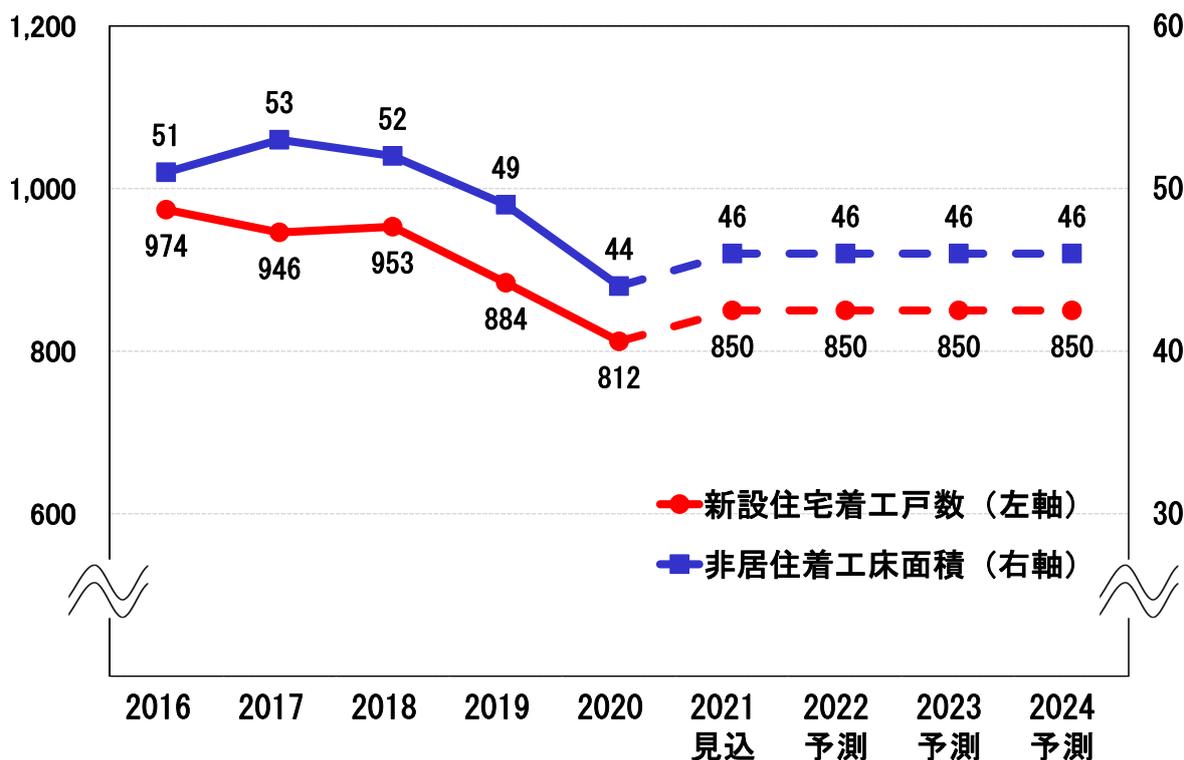


34/47

## 国内の建築用品市場の予測

(単位:千戸)

(単位:百万m<sup>2</sup>)



実績出典:国土交通省、2021年以降は当社予測

35/47

# 印刷機器事業

### 事業環境

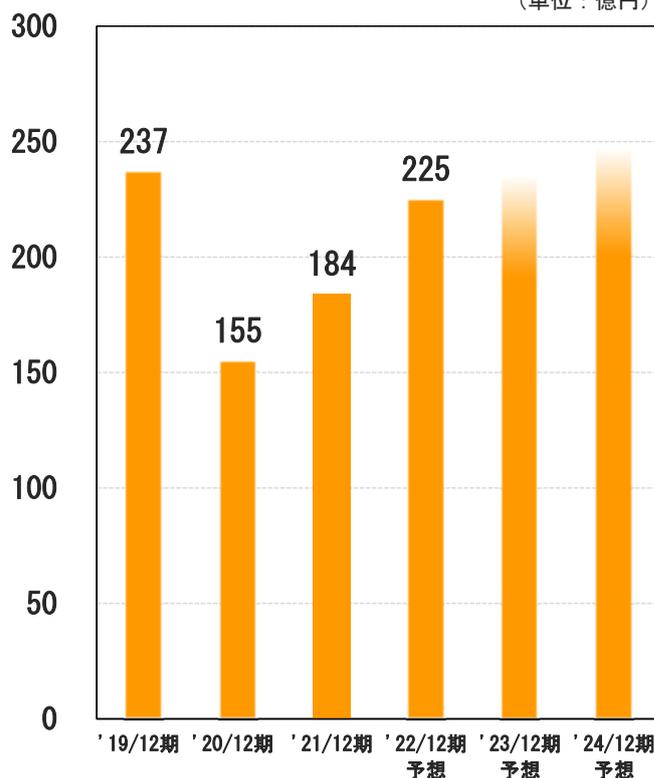
- オフセット印刷機市場は、地域毎にばらつきはあるが回復傾向
- 商品パッケージ（包装）印刷は堅調
- 国内において大型機の稼働台数が減少
- 国内は人員不足、新興国は人件費高騰による自動化・省力化ニーズの高まり

### 主要な取り組み

- 主力機種のコストダウンによる価格競争力の向上
- 商品パッケージ印刷用機種の販売強化
- 国内サービス（改造、保守など）の拡大
- 周辺機器ビジネスの拡大
- 自動化・省力化・アシスト機能の開発による商品力の向上

### 売上高の見通し

(単位: 億円)

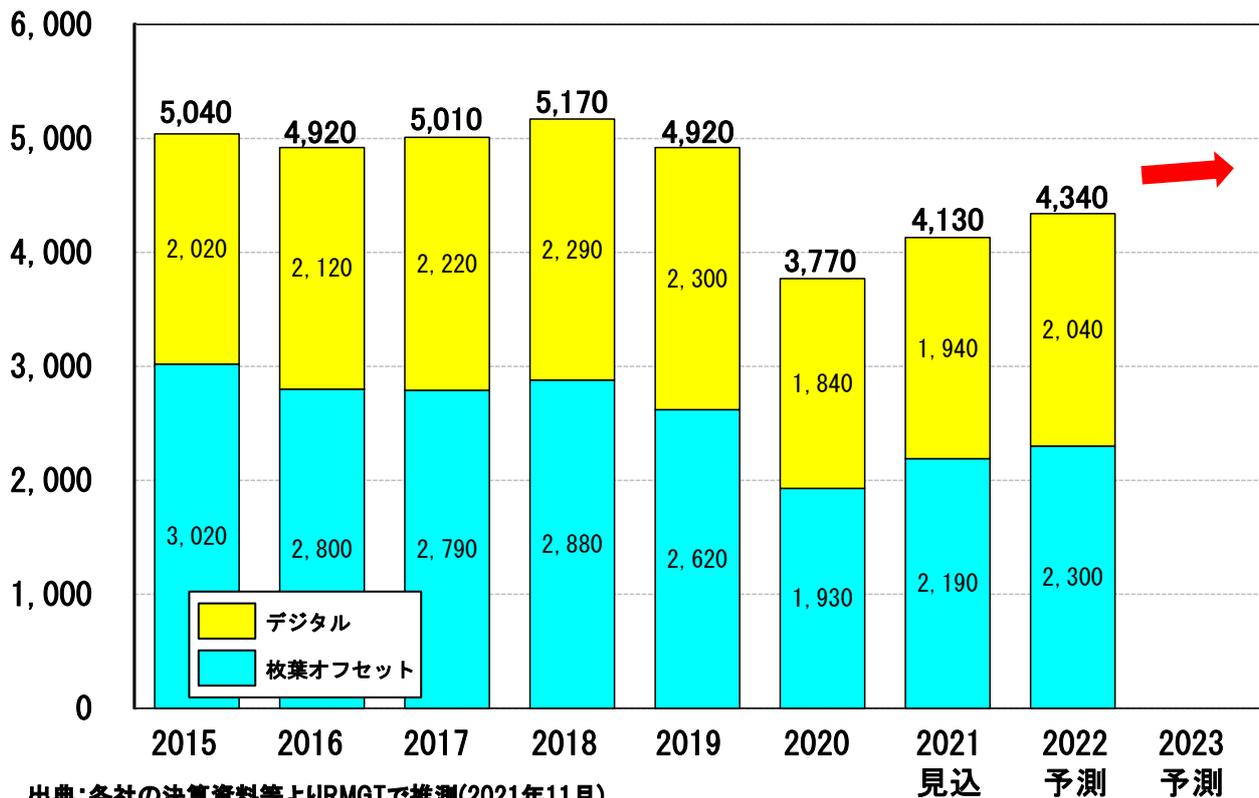


36/47

## 印刷機器事業

## 世界の枚葉印刷機市場(全サイズ)の予測

(単位: 億円)



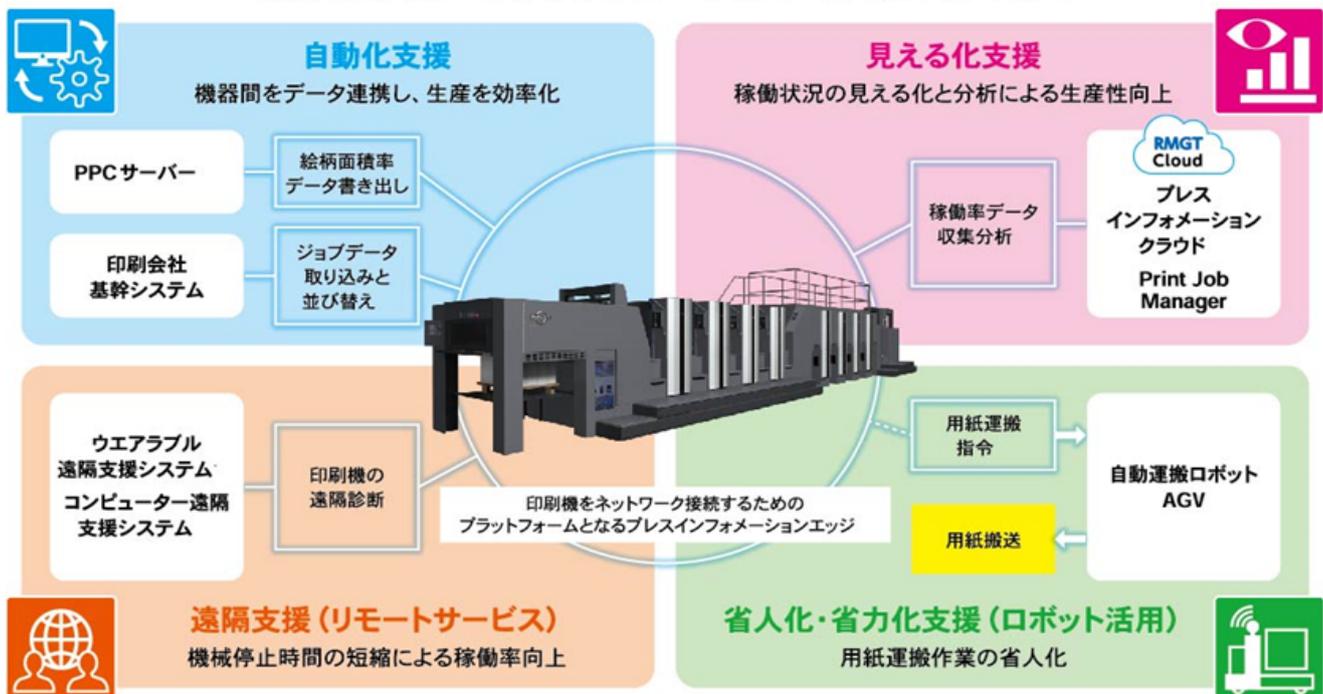
37/47

## 印刷機器事業

## 周辺機器ビジネス拡大への取り組み

印刷機自体にとどまらず、工場全体の最適提案を行う。  
 ー周辺機器メーカーとコラボレーションし、印刷工場のスマートファクトリー化を実現。

## RMGTスマートファクトリーソリューションコンセプト



38/47

## サステナビリティ ESG/SDGs

## ESGの取り組み

リョービグループは「環境(Environment)・社会(Social)・ガバナンス(Governance)」の課題を経営戦略の中心に位置づけて、事業リスクの最小化と事業機会の拡大により、持続的な企業価値の向上を図ります。また、事業活動を通じた社会課題の解決によって、持続可能な社会に貢献します。

## E(環境)

事業活動を通じた環境負荷の低減  
と循環型社会への貢献

- ・ リョービグループ環境方針のもと、環境目標達成に向けて、省エネルギー、省資源、廃棄物の削減、温室効果ガスの削減などを推進。

## S(社会)

安全で健康な働きやすい職場づくりと  
社会的要請への対応

- ・ 安全を最優先とする「安全文化」の定着と心とからだの健康管理による、安全で健全な職場づくり。
- ・ 真に豊かな社会の実現をめざして、地域に根ざした社会貢献活動の積極的な推進。

## G(ガバナンス)

ガバナンス、コンプライアンス、  
リスクマネジメントの強化

- ・ 経営の透明性や監督機能の向上を図るため、コーポレート・ガバナンスを強化。
- ・ コンプライアンス委員会の設置や内部通報制度活用の活性化。
- ・ リスク管理委員会の設置などリスクマネジメントの強化。

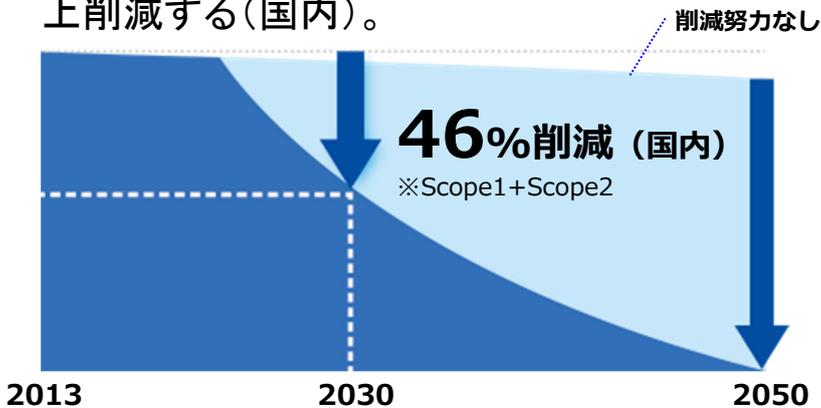
39/47

## サステナビリティ ESG/SDGs

## 環境への取り組み

## 2022年度環境目標

- ・ 2050年までにカーボンニュートラルを達成する。
- ・ 2030年までにCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比で46%以上削減する(国内)。



再生可能エネルギーの利用  
(写真はタイ生産拠点)



省エネ設備導入促進 (写真は熱処理炉)



低炭素燃料への転換 (重油からLNGへ)

CO<sub>2</sub>排出量削減に向けた取り組み

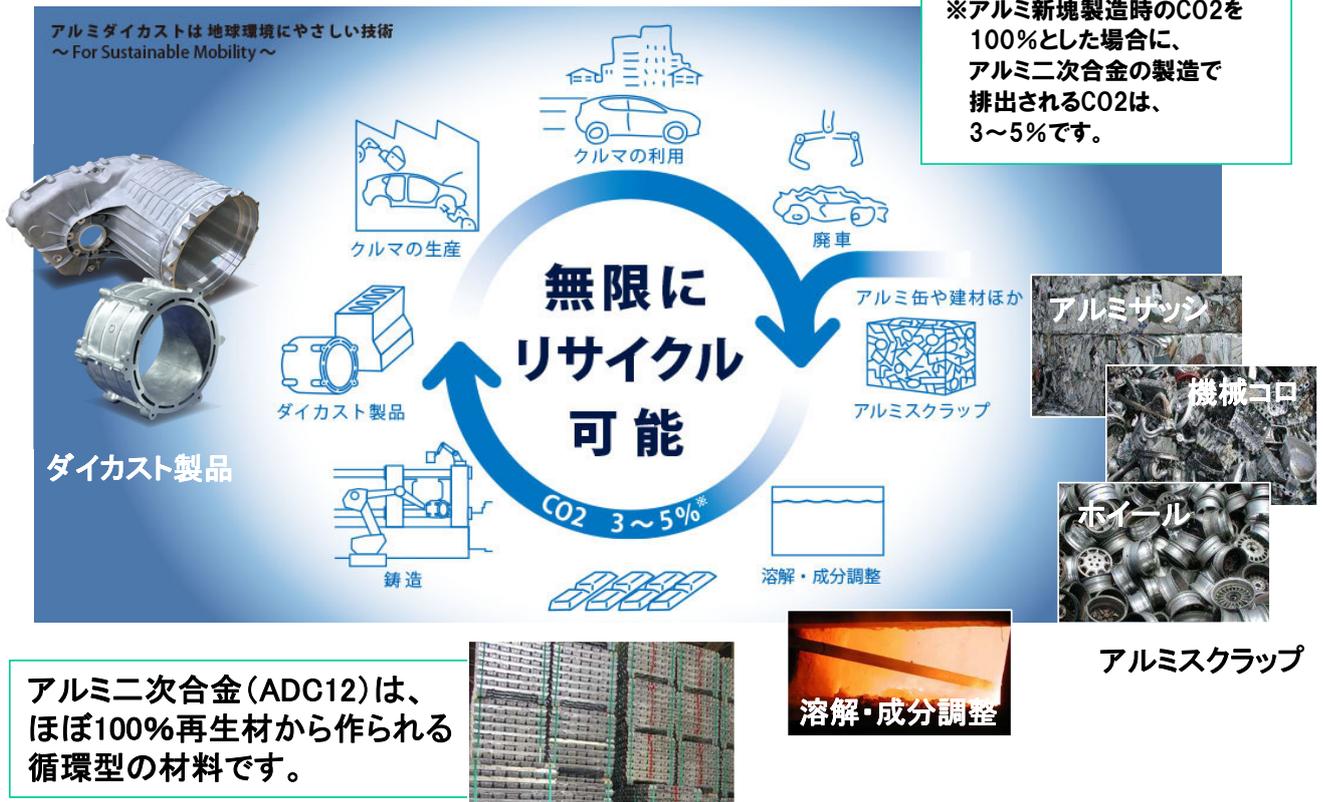
- ・ 省エネルギー設備の導入促進
- ・ 再生可能エネルギーの利用 (太陽光パネル、水力発電、等)
- ・ 低炭素燃料への転換 (重油→LNGなど)
- ・ 非化石エネルギー (電力・水素・アンモニア)への転換

40/47

## サステナビリティ ESG/SDGs

## 循環型社会への貢献

## アルミダイカストの優れた環境性能



41/47

## サステナビリティ ESG/SDGs

## 働きやすい職場づくりと健全な企業活動の推進

## 社員エンゲージメントの向上

- ・多様な働き方実現 (テレワーク、短時間勤務、フレックスタイム)
- ・女性の活躍推進 女性管理監督職 2021年実績13%
- ・健康経営優良法人の認定を取得、維持
- ・「子育てサポート企業」としての「くるみん」認定
- ・社員教育の充実

## 地域社会活動の推進

- ・校外学習・工場見学会(修学旅行生の受入)
- ・事業所周辺(道路、公園)の清掃活動
- ・保育園の運営
- ・NPO法人リョービ社会貢献基金の活動

## ガバナンスの強化

- ・指名報酬諮問委員会設置
- ・取締役会実効性評価実施
- ・内部統制システムの適正運用
- ・コンプライアンス委員会によるコンプライアンス推進活動
- ・リスク管理委員会によるリスク評価



校外学習・工場見学会

42/47

## サステナビリティ ESG/SDGs

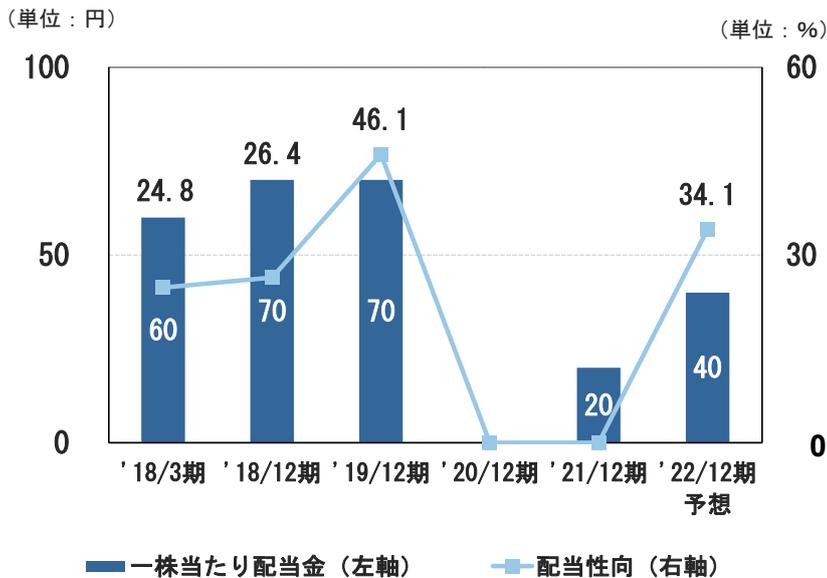
## SDGsへの取り組み

重要テーマ	対応する 主なSDGs目標	具体的な取り組み
地球環境 への配慮	   	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ アルミダイカスト製品の拡販</li> <li>▶ CO<sub>2</sub>削減</li> <li>▶ 水資源の効率利用</li> <li>▶ 廃棄物削減</li> <li>▶ 有害物質削減への取組み</li> <li>▶ 省エネ・軽量化ニーズの対応</li> <li>▶ リサイクルの推進</li> </ul> 
技術革新		<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 新たな技術・素材による新商品開発</li> <li>▶ 自動化・省力化ニーズに対応した新商品・サービス</li> </ul>  
働き方改革 の推進	  	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ ダイバーシティの推進</li> <li>▶ 多様な働き方の推進</li> <li>▶ 健康経営の推進</li> </ul> 
その他社会的 要請への対応	     	<ul style="list-style-type: none"> <li>▶ 雇用の創出</li> <li>▶ 技術の継承</li> <li>▶ 法令遵守</li> <li>▶ 企業理念の徹底</li> </ul> 

## 4. 株主還元

## 株主還元

## 一株当たり配当金・配当性向の推移



## 配当政策

- 中長期的に連結業績の向上を図り、成長投資と株主の皆様への安定した利益還元の維持を基本とする
- 安定的な配当継続に加え、配当性向30%程度を目安とし諸条件を勘案の上決定する

## 配当の状況

- 2020年12月期は業績の大幅悪化により、設備投資や事業継続の運転資金確保を優先し無配とした
- 2021年12月期については経常損益及びフリーキャッシュフローの黒字化、安定的な配当継続を考慮し復配（年間20円）

	'18/3期	'18/12期	'19/12期	'20/12期	'21/12期	'22/12期 予想	'23/12期 予想
一株当たり配当金	60円	70円	70円	0円	20円	40円	配当性向 30%程度
配当性向	24.8%	26.4%	46.1%	—	—	34.1%	

45/47

## 将来予測に関する注意事項

当資料には、当社の計画・戦略・業績等の将来予想に関する情報が含まれています。

これらの記載は、現在入手可能な情報に基づいて当社が判断したものであり、これにはリスクおよび不確実な要素が含まれています。

当社の実際の行為、業績は、経済情勢、事業環境、需要動向、為替動向等により、将来予想とは異なる可能性があります。

# RYOBI

できたらいいなの、その先へ。